

いつ、どこで、だれが、なにを、なぜ、どのように、を記事に  
たり分かりやすく書くことや写真をたくさんとればよか  
ものを後から選んで書くとか、紙面の記事をアタマ、  
9、ヘソに分けて書いていることを教えてもらいました

新聞のことを教えてくだ  
さってありがとうございました。  
写真のとりかたとかわか  
らなかったけど、教えて、く  
ださったのでわかりました。

三好先生へ、

私達のために新聞についてくわしく教え  
て下さり本当にありがとうございました。今  
まで新聞を取、ていながら、たけど新聞のこ  
とについて知、て少し興味がわいたのでこ  
れからは新聞を取、てみようと思いました。

三好先生へ、

私は、もともと新聞にあんまり  
興味がなかったけど、いつか家で  
言、売んでみたいな...と思いました。  
本当にありがとうございました。  
ました!

三好先生へ

ぼくは新聞の読みかたなど  
知らなかつたけど、言、売をしていただき、  
新聞の見かたをしりました。

お礼が"と"コ"ざ"いませ

神戸新聞社の方から聞いてわか  
たこと。ぼくは社会の勉強でも新聞  
の事を勉強をしてみたので、よく聞  
かいかと思、ていたけどそれ以上の新聞  
とはなにかどうや、かかされるかなど  
をおしえてもら、てことでも新聞の事につ  
いて学、べうれしかたです。

ほくは、この新聞の勉強でどれだ  
い。神戸新聞の人たちが苦勞して、神  
戸新聞を作っているのか分かったし、  
新聞を読む時のコツも分かったの  
でいつもより新聞がとても見やす  
かったです。

## 新聞について

私は、新聞をつくらっている人がどん  
なにくらうしてつくらっているのか、  
心を込めてつくらっているのかを  
知れ、新聞を読む目が変わ  
りました。

ほくは神戸新聞社の方々が改めて  
新聞の大切さ、大変さに気づきま  
した。新聞には自分たちのため  
の小情報がたくさんあって、そのこ  
とをしらせるため新聞の方々が努力  
しているのを知りました。

ほくは新聞には、とても強い思いと苦ろう  
があったんだと思いました。ほくら  
の町には、こんなにがんはってくれる  
人がいることを知りました。とても  
ありがたい事だと思いました。

新聞を作るのに、多くの人に関  
わり、取材をし、記事をまとめ  
る。それを配達して、住んでいる人  
に情報を提供する存在。

神戸新聞の三好さんは、新聞もまごみけ  
おし新聞をつくらっていたのでまた月曜日に  
る新聞をみてもいい、でもまた話をま  
たいたです。

ぼくは、今まで新聞を全然読んでい  
なか、たけど、新聞の学習をして、  
新聞を作る過程や大変さを知って、  
これからい、は、い新聞を読もうと  
思いました。

新聞のことは社会の習、たけど、  
「5W1H」とかは習、な、こはじめて  
知りました。  
1つの新聞のために  
たくさんの方が関わっていることも知りました。

私は新聞には、ト、ト、やカ、た、があることを  
初めて知りました。新聞には、たくさんの方が  
関わっていることも分かったし、どんなに新聞を作るのか  
も分かりました。

新聞記者は何かニュースがあっ  
たらすぐかけつけて取材をし  
て一日で作止めるのがとて  
も兼新聞記者はとててもか  
んはっている人たなと  
思いました。

私が神戸新聞のお話を聞いて、分かったことは、  
新聞のありがたさです。神戸新聞には、神戸の色  
々な情報、カラーの写真で分かりやすく、文章で書い  
たりしていて、とても考えながら作られていることが分かり  
ました。それに、今日のことだけでなく、明日の状況も  
考え、一人でも多くの人に神戸新聞をとどけたい  
という気持ちが伝わってきました。

私は、1月26日の神戸新聞社の人のお話  
で新聞の作り方や記事の書き方が分  
かりました。新聞作りの順序は学校で  
なっていました。今回のお話でも、と分か  
りました。記事の書き方も、見出しや前文で、た  
いたいの意味が分かるということに気付いま  
した。あと、取材に行く記者の人たちの大変さも分か  
りました。

ある季節に、その季節らしい  
記事が、いろいろな面に街の  
様子、ひがいが分けられて新聞  
にのっているということを知って、  
さまざまな視点からそのものごとを見ていて  
新聞をつくるのは楽しいことを実感しました。

神戸新聞社の人々は  
色々な事に気を付けて  
やっている事が分かり  
ました。限られた時間  
で1作るのはむずか  
しいと思いました。

私の学んだことは、1目は1つの情報に  
対してたくさん記事がのっていること2目は事件が  
起きたらすぐに記者の人が現場に取材  
に行っていること、3目は新聞の大切さで、  
テレビだと今すぐ知りたい情報が分かりにくいけど新聞  
だとすぐに知りたい情報が読めて、特にスマホを持って  
いないお年寄りの方にはとても便利だと思いました。

この前新聞社さんが来てくれたことは、取材に行く  
七くなった方がたのひせきの方とかにお話をきくとき私だから  
つらいと思うけどみんなのためにひん  
をきけると言うことがすばらしいと思  
いました。新聞はみんなが読むので正確  
な情報を伝えるくれるのでとても良いと思いました

神戸新聞を作るむずかしさや、  
神戸新聞社の新聞への思いや  
気持ちがありました。新聞の  
大切さを知り、興味を持ちました。  
新聞を取ってみたいなと思いました。

新聞の便り方とくわしく知れた。

取材の前に、下調べとしてかえ行っていることも知り  
ちんと調べているんだと、すばらしいと思いました。  
神戸の人たちのために、真実を誠実にちんと伝える  
ことが大切だ、ということも学んだ。

ぼくは、神戸新聞をとってないけど、神戸新聞社の人々の話で、新聞のよさがわかったから読んでみたいと思った。 新聞づくりは、日時間がかかりうかれるから読むきかいはあれば、苦勞したんだなと思い、最後まで読もうと思った。

ぼくは、神戸新聞の人の話を聞いて、神戸新聞社の人たちは、命がけでやっているのだなと思いましたが、理由は、あるからで、大震災のえいぞをみて、命がけで、新聞を作っていたからです。

1秒間にたくさんの新聞ができることを知ってよかったです。1つの新聞にたくさんの文字や絵がのっていて、すごかったです。事けんのことも、いちはやく取木オしていることを知ってよかったです。

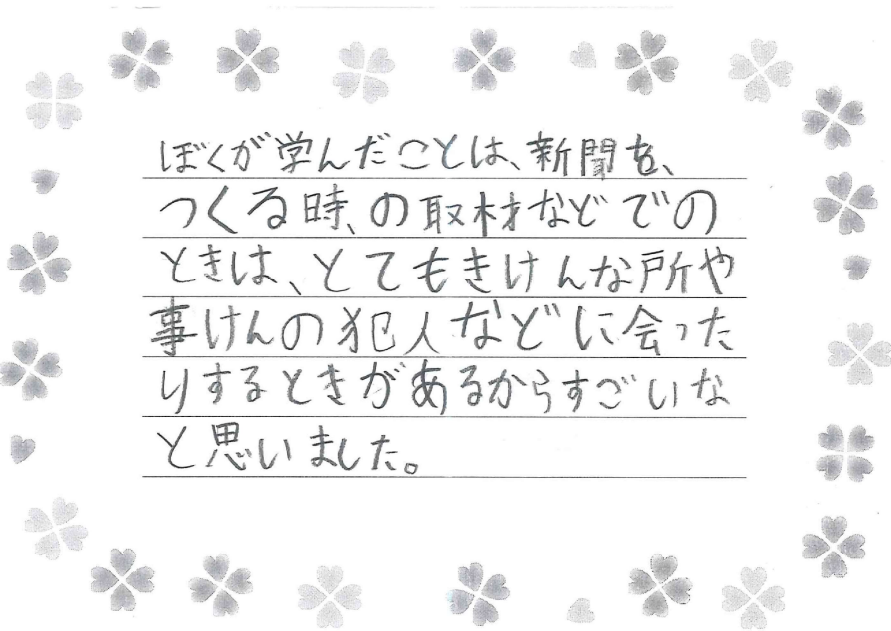
わたしは、新聞を読む人へ、今現在にあたで、き事を知ってもらうために、神戸新聞社の人たちはかまはっているのだなと分かりました。

わたしたちはかまの人に新聞をやぶたり、燃やしたりしているけど、い、しょうけんめい作っているからその一つ一つを残して、いこうと思いました。

神戸新聞者のちへ

4月のイラストで、どうゆうふうにはいっているか、とか、その季節に合った記事を使っている、なにか分かった。ほかにも授業で、なにかも分りました。

最初にした、冬の記事を何本が見つけるときに、新聞にはどのようか、記事がのっているのかを知れたし、1つの新聞に、冬が分かる記事はたくさん、のっているんだと学んだ。



ぼくが学んだことは、新聞を、  
つくる時の取材などでの  
ときは、とてもきけんな所や  
事けんの犯人などに会った  
りするときがあるからすごいな  
と思いました。

---